

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第26回『「異なる性質の協働」～「生命現象のバランス」～』

台風14号の接近で雨の中、Zoomによる『メディカル・カフェ in 菊名』に赴いた。「雨ニモマケズ、台風ニモマケズ 先生のお働きに 教えていただきます。」との感動的なメールを頂いた。今度、『聖書とがん』出版記念講演(画像)を主催される方も参加されていた。早速、『今日の「ズーム in がん哲学カフェ」をありがとうございます。がんの医学的なプレゼンテーション、大変、学ばされました。吉田富三の話も興味深い内容でした。中国語やハングル、ベトナム語などへの翻訳、素晴らしいです。勝海舟のことにも言及され、嬉しかったです。「偉大なるお節介症候群」は、ユニークでユーモアに満ちた言葉です。私も感染いたしました。がんに対する積極的、創造的な価値観構築を感謝致します。』と宇都宮在住の方からユーモア溢れる励ましのメールが届いた。

今週は、『第13回軽井沢がん哲学外来カフェ』(軽井沢南教会に於いて)に赴く。『がん哲学外来とは「がんを告知されてから、あなたが考える「悩み・不安・想い・願望」などを直に聴いて「解消できる道」を一緒に探し「医療の隙間」を埋める活動です。がんを患うご本人だけでなく、支えられている家族の方々の相談も行います。今や世界的にも注目されている「がん哲学外来メディカル・カフェ」是非どなた様もお気軽にご参加ください。2017年10月17日 第1回「がん哲学外来カフェ」が軽井沢南教会にて開催されました。』と謳われている。軽井沢は、「内村鑑三(1861-1930)、新渡戸稲造(1862-1933)のゆかりの地」で、私にとっては、特別の思いがある。

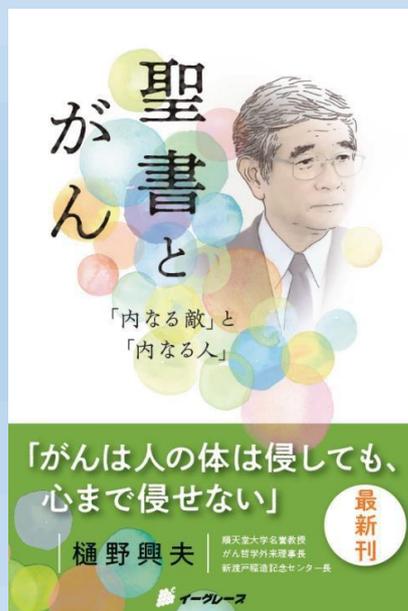
『「21世紀の軽井沢夏季がん哲学学校」～内村鑑三と新渡戸稲造の楕円形
の精神～』開設記念 公開シンポジウム(2017年7月17日)に参上したのが、鮮明に蘇って来た。私は、講演『「21世紀の軽井沢夏季がん哲学学校」の現代的意義』の機会が与えられた。新渡戸稲造は、1918年に「軽井沢通俗夏季大学」の初代学長になった。若き日に学んだ「内村鑑三と新渡戸稲造の楕円形
の精神」は、「交感神経 & 副交感神経、がん遺伝子 & がん抑制遺伝子」の

如く「異なる性質の協働」である。これは、「生命現象のバランス」の絶対性大原理で、現代の人間社会にも適用されるものであろう。

聖書とがん

「内なる敵」と「内なる人」

出版記念 シンポジウム &講演会



樋野興夫 著 イーグレイプ刊

10月20日発売

定価 **1,600円**(税別)

がん哲学提唱者・樋野興夫氏(順天堂大学名誉教授)による講演と
牧師たちによるシンポジウムのひとときを
ぜひお楽しみください

10月31日(土) 13時30分～15時30分

**会場 日本キリスト教団深沢教会
(世田谷区駒沢5-13-12)**

定員50名

主催 がん哲学外来メディカルカフェ in 世田谷深沢
目白がん哲学外来カフェ

後援 一般社団法人がん哲学外来

申し込み・問い合わせ先

月岡邦彦 03-3703-8400 kuny.nice@outlook.jp

森 尚子 03-3971-9873 mejirogtcafe@yahoo.co.jp